

平成29年度 今治育成園 施設指定管理者モニタリング結果

施設名	今治育成園
所在地	今治市町谷甲746番地
指定管理者	<p>名 称 社会福祉法人 今治福祉施設協会</p> <p>代表者 理事長 胡井 裕志</p> <p>住 所 今治市南宝来町一丁目9番地8</p>
モニタリングの実施方針・方法等	<p>本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。</p> <p>その後、指定管理業務の課題ごとに、指定管理者による自己評価及び市による評価結果を取りまとめました。</p>
担当部課 (問合せ先)	<p>健康福祉部 障がい福祉課</p> <p>TEL : 0898-36-1527</p> <p>E-mail : syougai Fukus@imabari-city.jp</p>

評価内容

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
総則	A	知的障害者福祉法、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律、今治市条例の法令・規則を遵守し指定管理業務を遂行しております。	A	施設の設置目的である知的障がい者への保護療育や、自立生活のための生活支援や職業訓練を理解して運営しています。保護者にも運営方針を説明し、理解を得ています。
利用状況	A	入所者は定員50名に満たされておりません。短期入所・レスパイトにつきましては、平常時の定員3名、特殊な事情のある場合の緊急時の定員4名とし、当施設が行事等のやむを得ない事情のため受け入れが困難な場合を除き、可能な限り受け入れに努めました。	A	入所者は定員50名で満たされているものの、入退院を繰り返される方が2名いるため、延べ利用は減少しています。短期入所・レスパイトについて職員が対応できる限り、受入に努めている状況にあり、急な用事等で家族が世話をできなくなった時の場所として対応できています。
事業収支	A	社会福祉法人 今治福祉施設協会 経理規程等に基づき適正な経理業務を実施しております。	B	業務委託費が契約更新の際に増額となったこと以外、支出に大きな変更はありません。引き続き経費節減に努め、健全な経営をお願いします。

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
管理運営体制	A	組織体制・職員研修等に適正な運営が遂行されるように努めました。また、引き続き障がい者雇用も行ってまいります。	B	組織内研修、派遣研修により、障がいの知識を職員が学習しています。24時間体制のため一度に職員が集まる機会がない為、研修内容は文書配布及び2回の会議により周知し情報共有を図っています。障がい者雇用も行っており、働く場を提供できています。施設職員数は年度当初は充足していたものの年度末現在欠員がある状況です。人員配置基準は満たしていますが、職員負担が大きくなりますので、早急な職員確保をお願いします。
管理運営業務	A	今治市との協議・連携により、仕様書等で定められた管理業務を今治育成園職員自らが実施し、職員が直接関与することが困難な業務につきましては、適正に業者選定、業務の委託を行い、適正な管理に努めました。	A	どの業務も業務基準を満たした対応がなされています。植栽管理では職員のみならず家族やボランティアの参加があり、施設の維持に協力いただけています。清掃管理では自発的に参加される利用者もあり、職員と一緒に施設を清掃しています。食品を取り扱う厨房、食品庫では毎月業者による点検を行い衛生管理に取り組んでいます。
利用業務	A	利用指導資料作成、利用料減免、利用促進業務、誘致活動業務につきましては、当施設にとって馴染まないものとして自己評価の対象外とさせていただきます。利用者並びに当施設に関与される方々に、職員が親切丁寧な対応を行うよう努めました。施設・イベントのPR・情報提供のために、パンフレット・イベント情報・広報誌を作成配布しました。	B	イベント情報チラシにより、関係団体・ボランティア・近隣地区へ情報発信しています。利用者家族へは年2～3回の広報誌発行により、情報提供及び現況報告を行っています。定員を満たしているため、入所受け入れはできませんが、短期入所・レスパイトを利用される方もいますので、当施設の情報発信をお願いします。
その他業務	A	事故及び災害発生時の対応について、リスクマネジメント委員会を月1回実施し、職員協議の上で十分な対応を行うよう努めました。省エネルギー対策につきましては、日頃の活動、地域交流行事等におきましてごみの分別や資源のリサイクルに積極的に取り組みました。喫煙対策では指定喫煙場所を当施設の建物外に設置し、分煙化を図りました。個人情報保護に関しましては、社会福祉法人 今治福祉施設協会により個人情報取り扱いに関する研修や職員より個別に誓約書を徴収し、適正な個人情報管理を徹底しております。利用時間等につきましては、利用者ニーズに配慮し、柔軟に対応できるよう努めました。	A	事故・災害等の対応マニュアルを作成し、避難訓練は1～2カ月に1回実施、災害発生に備え食料を1週間分備蓄しています。事故が発生した場合は、利用者家族や市へ速やかに報告できています。また、月1回のリスクマネジメント委員会により再発防止に努めています。イベント時には近隣の交通安全協会に協力してもらい、駐車場誘導を行うことで安全確保ができています。個人情報も法人全体で情報管理を徹底しており、施設長を中心に取組んでいます。
修繕業務	B	修繕業務に関しては、可能な限りすみやかな対応が出来るように努めました。	B	施設の老朽化による施設設備の修繕が増加していますが、利用者が安全に使えるよう迅速に対応しています。今後は事後的な対応のみならず、事前の修繕にも取り組めるようお願いします。
備品管理業務	B	備品管理業務については、適正に実施されるように努めました。	B	利用者の生活に関わる備品の既存品との入替のための購入がなされています。老朽化による備品の順次入れ替えをお願いします。
行政財産の目的外使用許可手続業務	A	利用者の利便性向上のため、飲料水の自動販売機を設置し、市場価格と同額で販売しました。収入については、施設の管理運営費に充当しました。	B	利用者の利便性に寄与するため、飲料用の自動販売機が設置されています。目的外使用許可申請の手続きも適切に行われています。

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
自主事業	A	自主事業につきましては、地域に根ざし、利用者並びに家族、地域住民、関連団体各位、職員が連携して創意工夫のもとで実施されております。当施設の諸活動によりまして、広く地域・一般の方々への普及啓蒙を行い、障害者福祉の向上に寄与すべく努めました。	A	地域と連携し、また小学校や婦人会、JA等複数の団体の協力を得ながら、2つの恒例のイベントを継続実施しています。利用者のみならず、近隣住民も訪れるイベントであり地域の催しの一つとしての立ち位置を確立しています。今後も継続実施できるようお願いします。
地域団体との連携	A	富田地区コミュニティ推進会をはじめとして、富田福里会、草の根ふれあい会等の関係諸団体と連携し、地域交流行事などを通じて、住民の皆様と共に、ふれあいのまちづくり事業推進、障害者への理解を深めるなど地域に根ざし、地域に開かれ、地域と共に歩む活動を通じ、地域に愛される施設づくりに邁進して参りました。	A	地域の自治会をはじめとする各種団体との連携によるイベントの共同実施など開設当初より交流・連携が密に取られています。地域に根差した取り組みを今後も継続し、より一層の連携・交流が図られることを期待します。
利用者アンケート	A	アンケートの実施にあたっては今治市と協議し、結果・分析等は適正に処理しております。	B	アンケートより、利用者、家族から満足度の高い回答をいただいておりますが、回収率が50%以下となっております。要望、意見を把握するためにも、回収率向上への対応をお願いします。
事故・苦情	A	当施設利用者の事故や苦情に対し、意見が述べやすい環境整備努め、適切な対応や記録・分析を行い、有効な対策が講じられるような組織づくりに努めました。	B	施設広報誌に苦情申し出先を記載し、利用者家族へ周知するなど、苦情対応が可能な体制及び周知を行えています。
指定管理者の経営状態			貸借対照表、事業活動計算書については、法令及び定款に従い、適正に作成されていると認められました。指定管理者の経営状況については、財務諸表から割り出した経営分析指標において、特に気になる数値はなく、指定施設の管理を安定して行う物的能力を有していると認められました。	

総合コメント(市)

今治育成園では、施設入所(生活介護)、短期入所、日中一時支援の3つの事業を展開しており、それぞれ順調に運営されています。特に入所者においては、長期に渡り常時定員を満たしており、待機者もいる状況です。地域との連携が強く、また地域の理解も深く、イベント時には大勢の地域住民が訪れます。特に地域福祉祭り、観月会の2つの大きなイベントについては共催という形で実施されており、毎年恒例行事となっています。今後も、地域とのつながりを大切に、地域とともに育んでいく施設となるよう期待します。